

【5月 3日(日) 復活節第5主日】

- ① ミサ (7時・9時30分、聖堂)
- ② 津和野乙女峠まつり (10時15分開始、7時巡礼バス祇園教会出発)
- ③ 長束墓地墓参り (9時30分ミサ後、長束墓地)

5月 9日(土) 可部地区会 (9時、可部集会所)

【5月 10日(日) 復活節第6主日】世界広報の日

- ① 地区会 (9時30分ミサ後)
 - 安地区会 (アルペ館A)、佐東・沼田地区 (アルペ館B)
 - 祇園地区 (202)、山本地区 (203)、古市地区 (204)
 - 長束地区 (205)

5月 16日(土) 墓地清掃 (長束地区担当、9時、長束墓地)

【5月 17日(日) 主の昇天】

* 西広島協働体司祭交代日 交代なし

① 結婚金祝・銀祝について

来る5月24日(日)聖霊降臨の主日の9時30分のミサで、1976年(昭和51年)・2001年(平成13年)に洗礼・結婚された方々の祝福を行います。結婚後に洗礼を受けられた方や、教会で結婚式を挙げられなかった方々も該当します。教会事務所までお知らせください。

【本日のミサ】復活節第5主日

入祭：典151「遠く地の果てまで」

答唱詩編：典46①②⑤「神の注がれる目は」

アレルヤ唱：典264 第5主日A「わたしは道、真理、いのち。

わたしを通らなければ、だれも父のもとに行けない。」

奉納：プリント「希望の巡礼者」(7時ミサなし)

拝領：プリント「キリストはぶどうの木」(7時ミサなし)

閉祭：典389「キリストのように父を仰ぎ」

第一朗読 使徒たちの宣教 6:1-7

そのころ、弟子の数が増えてきて、ギリシア語を話すユダヤ人から、ヘブライ語を話すユダヤ人に対して苦情が出た。それは、日々の分配のことで、仲間のやもめたちが軽んじられていたからである。そこで、十二人は弟子をすべて呼び集めて言った。「わたしたちが、神の言葉をないがしろにして、食事の世話をするのは好ましくない。それで、兄弟たち、あなたがたの中から、“霊”と知恵に満ちた評判の良い人を七人選びなさい。彼らにその仕事を任せよう。わたしたちは、祈りと御言葉の奉仕に専念することにします。」一同はこの提案に賛成し、信仰と聖霊に満ちている人ステファノと、ほかにフィリポ、プロコロ、ニカノル、ティモン、パルメナ、アンティオキア出身の改宗者ニコラオを選んで、使徒たちの前に立たせた。使徒たちは、祈って彼らの上に手を置いた。

こうして、神の言葉はますます広まり、弟子の数はエルサレムで非常に増えていき、祭司も大勢この信仰に入った。

第二朗読 使徒ペトロの手紙 一 2:4-9

(愛する皆さん、) 主のもとに来なさい。主は、人々からは見捨てられたのですが、神にとっては選ばれた、尊い、生きた石なのです。あなたがた自身も生きた石として用いられ、霊的な家に造り上げられるようにしなさい。そして聖なる祭司となって神に喜ばれる霊的ないけにえを、イエス・キリストを通して献げなさい。聖書にこう書いてあるからです。